

災害への備え、被災時の地域協力を考える内郷の会

あんしん内郷

第 6 号

発行：内郷地区社会福祉協議会

Tel/Fax:043-486-5690

eメール:uts@catv296.ne.jp

Instagram:uchigou_bousai



あんしん内郷
Instagram

災害にあっても 困らないために

こんにちはトイプードルの



レオです。自由な猫の



麦です。

「内郷地区のみなさん、こんにちは。あんしん内郷のレオと麦です。

内郷のあんしんを考えて一年が経ちました。

今回は、過去の災害を振り返りながらだれでも、今できる災害対策を考えます。

耳寄りな『補助金活用』情報もありますよ。」

「ところで麦ちゃん、今まで体験した災害って覚えてる？」

「……」

「えっ！忘れちゃったの。ほら、東日本大震災とか令和元年房総半島台風とかあったでしょ。

あの時は、倒木や道路の陥没、冠水で通行できなくて大変だったね。水道も止まるし、停電でクーラーも効かないから、夜だけパパの車で寝たよね、忘れたの？」

「よく覚えているよ。あの時は車の中が涼しくて、ぐっすり眠れたよ。」

「あんな大変な思いをしたのに、なんて呑気なこと。」

「ねえ、レオ。災害の記憶や体験談は確かに大事だよ。災害を切実に感じないと、なかなか対策しないからね。そして、もっと大切なのは日常の心掛けだよ。『もし災害にあったら』を意識して備えること。災害時の行動を普段から想定して備えることで、出来るだけ被害を小さくしたいよね。」

「たとえばどんな風に？」

「まずは、自分の安全確保、次に家族の事ね。家族同士で災害時の連絡の取り方を共有しておくことや、避難ルートを考えておくことは大事だね。」

「家族同士での連絡の取り方は、すぐに相談しておけるね。」

「携帯やスマホのメール、LINE を活用するのも一つの方法だね。ほかには固定電話や公衆電話、パソコンからも使えるNTT災害用伝言ダイヤル(171)があるよ。171は毎月1日と15日に災害時を想定してのお試し利用ができるから、家族でぜひ使ってみるといいよ。」

「なるほど、家族での話し合いや相談、大事だね。

ところでお家が被害を受けることもあるでしょ、その修理って大変なのかなあ。」



「そう、とっても大変。レオの犬小屋修理とは訳が違うよ。最近は木材や建築資材が世界的に高騰しているから修理代もすごく高いと思う。」



「ええ～ どうしよう。」



「災害に備えて火災・地震保険に入っておくのも自衛策のひとつだね。その保険でどこまでカバーできるかは契約書を確認しておくこと。わからない場合には、保険屋さんに確認すること。あとでこの災害は保険対象外ですなんて言われたら大変だよ」

「それと、保険請求には、罹災証明書が必要だからね。これは佐倉市が受け付けしてくれるよ。」



「被害を受けたお家の状況って、どうやって確認すればいいんだろう？」



「写真です！被災状況の写真は、家の修理の保険請求にも必要になるからね。片付ける前に、ありのままの状況で写した方がいいよ。家が倒壊するくらい危険な状況では立ち入れないけど、屋根や壁、家の一部が壊れている場合には、安全を確保した上で被災の写真を残しておくこと。」



「写真が大事、必要ってことだね、麦ちゃん。あと、保険以外に備えられることってあるのかなあ？」



「またまた、いい質問だね、ありますよ。佐倉市災害共済って知ってる？この共済は一世帯年額1,000円で加入出来るよ。ただし、地震は対象外で、台風など風水害には使えるよ。」



「ねえ物知り麦ちゃん。他に災害への備えで活用できるものはあるかなあ？」

「地震対策関係の補助金と、水害対策関係の補助金などがあるよ。補助金なので自己負担もあるけれど経費の一部が補助されるよ。予算の枠もあるので詳しいことは、佐倉市に確認してね。」



「補助金もいろいろあるけれど、最後にひと言。地震や豪雨災害の後には被災者の不安に付け込んだ便乗商法が多いよ。『保険金が使える』『自己負担なく修理できる』と勧誘する手口の詐欺事件もあるらしいから注意してね。」



「そんな悪い奴がいるの！」



「災害後に、復興ボランティアとして力を貸してくれる方もいれば、逆に不安を煽って、人を騙す奴もいる。自然災害は防げないけれど、対策を怠って起きる人災は防げるでしょ。まずは自分や家族を守るための行動をしなくちゃ！」

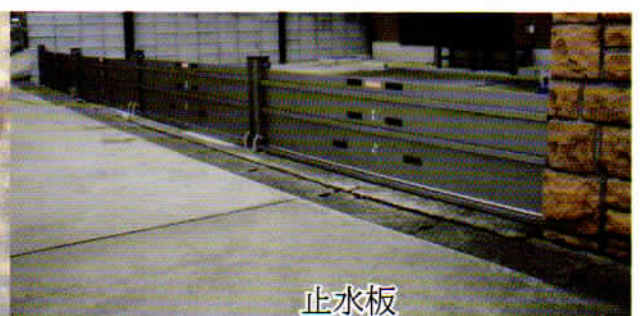
※裏面には佐倉市の【住まいの防災に関する補助制度】の一部を紹介しています。



1



2



3